

地震発生時の避難行動を学ぶ動画【教室編】

- 【学習のねらい】
1. 自分の教室で、どのような危険が起こるかを理解できる。
 2. 校内の場所に応じて、適切な危険回避の方法を理解できる。
 3. 避難時に注意すべきことを理解できる。

（指導上のポイント）

- ◆地震発生時の初期対応として「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所を見つけ出してすばやく身を寄せ、適切な方法で自分の命を守ることを指導する。
- ◆休み時間等のさまざまな時間帯を想定した危険回避行動についても考えさせる。
- ◆津波による被害が予想される学校や第1次避難場所が危険な場合は、第2次避難場所への避難が必要になる場合があることを指導する。

映像を見て考えよう【教室編】

地震発生時の映像を見て、注意すべきか所や感じたことを下に書き込みましょう。

危ないと感じた理由

映像の中で危ないと感じたところをここに画像で貼り付けましょう。

危ないと感じた理由

映像の中で危ないと感じたところをここに画像で貼り付けましょう。

危ないと感じた理由

映像の中で危ないと感じたところをここに画像で貼り付けましょう。

自分の教室で注意すべきことを想像して書き込みましょう。

《参考》

○学校で考えられる危険

【教室】

照明器具の落下、割れた窓ガラスの破片の飛散・降りかかり・床への散乱、天井や壁の部材の剥離、本棚・ロッカーの上の荷物の落下、本棚・ロッカーの転倒、掲示板の落下、エアコン・時計・放送機器の落下など
⇒机の下に隠れ、両手で机の脚をしっかり持つ。

（議論のポイント）

- ・ 県立学校の耐震化率は100%・非構造部材（外壁、天井等）20%弱（H27年4月時点）、教室・廊下・体育館の天井や照明、校内の本棚・ロッカー等の具体的な危険箇所を把握。など

■ 360度映像の指導例

■ 教室編

被害内容	子どもに書いてほしいこと	怪我等をしないためにすること	事前にできること
教卓が倒れる	教卓が倒れてきて危ない	机の下への避難	器具などで固定
額縁の落下	額縁が落ちてきてあたりそう	ネジなどでの固定 落下する額縁などはなくす	ネジなどでの固定
机・椅子が倒れる	机が倒れるとは思わなかった 机が倒れてきて危ない	避難時に手で押さえる 自分の机は下に入ってしっかり固定する	
モニターが落下する	重いので落下すると危険	器具などで固定 机の下に避難し頭などをまもる	器具などで固定
時計の落下	時計が落ちてきてあたりそう	ネジなどでの固定 机の下に避難し頭などをまもる	ネジなどでの固定
天井の落下	天井が落ちるとは思わなかった	机の下への避難	
ロッカーの転倒	大きいので危ない。出口がふさがれる	器具などで固定 机の下に避難し頭などをまもる	器具などで固定
ロッカー上の荷物の落下	高い場所に荷物を置くと危ない	荷物を乗せない 机の下に避難し頭などをまもる	荷物を乗せない
棚上の水槽落下	水槽のガラスが割れて危ない	器具などで固定	器具などで固定・滑り止めシート
棚上の水筒落下	水筒が落ちてきてあたりそう 踏むと危ない	滑り止めシート、水筒にカバー	滑り止めシート、水筒にカバー
棚上のファイル落下	棚の上のものは落ちるのでなるべく乗せない	棚の上に物を置かない 机の下に避難し頭などをまもる	
棚中の荷物落下	棚中の荷物が落ちるので固定できないか	棚に蓋をつける。棚の奥に置く 机の下に避難し頭などをまもる	
窓の破損	窓が割れるとは思わなかった、踏むと危ない	机の下への避難	保護シート貼り付け

地震発生時の避難行動を学ぶ動画【校庭編】

- 【学習のねらい】
1. 自分が通っている学校の校庭で、どのような危険が起こるかを理解できる。
 2. 校内の場所に応じて、適切な危険回避の方法を理解できる。
 3. 避難時に注意すべきことを理解できる。

（指導上のポイント）

- ◆地震発生時の初期対応として「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所を見つけ出してすばやく身を寄せ、適切な方法で自分の命を守ることを指導する。
- ◆休み時間等のさまざまな時間帯を想定した危険回避行動についても考えさせる。
- ◆津波による被害が予想される学校や第 1 次避難場所が危険な場合は、第 2 次避難場所への避難が必要になる場合があることを指導する。

映像を見て考えよう【校庭編】

地震発生時の映像を見て、注意すべきか所や感じたことを下に書き込みましょう。

映像の中で危ないと感じたところをここに画像で貼り付けましょう。

危ないと感じた理由

映像の中で危ないと感じたところをここに画像で貼り付けましょう。

危ないと感じた理由

映像の中で危ないと感じたところをここに画像で貼り付けましょう。

危ないと感じた理由

自分の校庭で注意すべきことを想像して書き込みましょう。

《参考》

○学校で考えられる危険

【校庭】

窓ガラスの破損と破片の落下、外壁材の剥落、
運動用具・遊具の損壊、銅像倒壊

⇒サッカーゴールなどの体育器具や校舎から遠ざかり、中央に集まる。

（議論のポイント）

- ・県立学校の耐震化率は 100%・非構造部材（外壁、天井等）20%弱(H27 年 4 月時点)、教室・廊下・体育館の天井や照明、校内の本棚・ロッカー等の具体的な危険箇所を把握。など

■ 360度映像の指導例

■ 校庭編

被害内容	子どもに書いてほしいこと	怪我等をしないためにすること	事前にできること
窓ガラスの落下	窓ガラスが落ちてきて危ない	校舎のそばから離れる 慌てて校舎内から外に避難しない	飛散防止フィルムを貼る
外壁の落下	外壁が落ちてきて危ない	校舎のそばから離れる 慌てて校舎内から外に避難しない	
スピーカーの落下	スピーカーが落ちてきて危ない	校舎のそばから離れる 慌てて校舎内から外に避難しない	
観葉植物の転倒	つまずくかもしれない	足元をよく見て避難する	高い場所には置かない 動かないように固定する
照明の落下	照明が落ちてきて危ない	落下する可能性のあるものから離れる	
サッカーゴールの転倒	ゴールに挟まれると危ない	倒れる可能性のあるものから離れる	当面動かさない場合は器具で固定する
バスケットゴールの転倒	ゴールに挟まれると危ない	倒れる可能性のあるものから離れる	当面動かさない場合は器具で固定する
地割れ	地面が割れるとは、落ちないようにしたい	足元をよく見て避難する	グラウンドの盛り土・切り土を確認する（教員）
がけ崩れ	がけが崩れるとは思わなかった	急斜面から離れる	急斜面があるか等を調べておく

地震発生時の避難行動を学ぶ動画【通学編】

- 【学習のねらい】
1. 自分の通学路で、どのような危険が起こるかを理解できる。
 2. 状況ごとの適切な危険回避の方法を理解できる。
 3. 通学経路上で被災した場合の避難場所や避難時に注意すべきことを理解できる。

（指導上のポイント）

- ◆生徒が危険と考えた理由についても発表させる。
- ◆地震発生時の初期対応として「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所を見つけ出して、すばやく身を寄せ、適切な方法で自分の命を守ることを指導する。

映像を見て考えよう【通学編】

地震発生時の映像を見て、注意すべきか所や感じたことを下に書き込みましょう。

<p>映像の中で危険と感じたところをここに画像で貼り付けましょう。</p>	危険と感じた理由	<p>映像の中で危険と感じたところをここに画像で貼り付けましょう。</p>	危険と感じた理由
<p>映像の中で危険と感じたところをここに画像で貼り付けましょう。</p>	危険と感じた理由	自分の通学路で注意すべきことを想像して書き込みましょう。	

《参考》

○写真以外に起こり得る危険

【屋外】

家の屋根・壁の剥落、石垣やブロック塀の崩落、自動販売機の転倒、階段からの転落、切れた電線による感電、家屋の倒壊、火災・爆発、液状化 など

（議論のポイント）

地域防災訓練に家族と参加、被災地を訪問し還流報告、被災地復興イベント企画 など

《重要》外出先で考えられる危険回避方法

地域や場所により考えられる危険はさまざまだが、以下の原則を守るよう指導する。

- ①危険が考えられる場所から離れる。
- ②駐車場など広い空間へ逃げ、カバンなどで頭を守る、だんごむしのポーズをとるなどの体勢をとる。
- ③揺れそのものだけでなく、続いて起こり得る火災、パニックになった群集、停電で信号が停止し、混乱する車等にも注意する。
- ④係員や車掌の誘導、館内アナウンス、誘導灯・誘導標識に従う。流言飛語に浮足立たない。
- ⑤津波の恐れがある地域では、揺れがおさまったらすぐに高台などへ逃げる。

■ 360度映像の指導例

■ 通学編

被害内容	子どもに書いてほしいこと	怪我等をしないために すること	事前にできること
古い家屋の倒壊	家が崩れるとは思わなかった	古い家屋から離れる	通学路の危険個所を調べておく
ブロック塀の倒壊	ブロック塀は重いので挟ま れると危ない	倒れそうな塀から離れる	通学路の危険個所を調べておく
地割れ	地面が割れるとは、落ちない ようにしたい	足元をよく見て避難する	ハザードマップを確認する
家屋外壁の剥がれ	家の壁が落ちるとは思わな かった	古い家屋から離れる	通学路の危険個所を調べておく
電柱の曲がり	電線も垂れてくるかもしれ ない	電柱・電線の下から離れる	通学路の危険個所を調べておく
看板の落下	家の外でも落ちてくるもの があると気付いた	落下しそうな物から離れる	通学路の危険個所を調べておく

地震発生時の避難行動を学ぶ動画【室内編】

- 【学習のねらい】
1. 自宅で起こり得る危険と危険回避を理解できる。
 2. 自分や家族を助けるための行動を理解できる。
 3. 避難場所や避難時に注意すべきことを理解できる。

（指導上のポイント）

- ◆地震発生時の初期対応として、「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所を見つけ出して、すばやく身を寄せ、適切な方法で自分の命を守ることを指導する。
- ◆被害を最小限に食い止めるため、家族防災会議を開き、家族で話し合っておくことの大切さを指導する。

映像を見て考えよう【室内編】
地震発生時の映像を見て、注意すべき場所や感じたことを下に書き込みましょう。

<p>映像の中で危ないと感じたところをここに画像で貼り付けましょう。</p>	危ないと感じた理由	<p>映像の中で危ないと感じたところをここに画像で貼り付けましょう。</p>	危ないと感じた理由
<p>映像の中で危ないと感じたところをここに画像で貼り付けましょう。</p>	危ないと感じた理由	自分の家で注意すべきことを想像して書き込みましょう。	

《参考》

○家で起こり得る危険の回避方法と対策

【窓ガラスの破損】窓から離れ、室内履きを用意する。
→カーテンを閉めて寝る。強化ガラスに変更する。飛散防止フィルムを貼る。枕元にスリッパ、寒中電灯を用意する。

【家具の転倒・落下】転倒家具の近くから離れ、机の下に隠れるか、机がなければ本などで頭を守る。
→家具を固定する。寝る位置を工夫する。タンスなどの上に重い荷物を置かない。本棚の上の方に辞書や図鑑などを置かない。突っ張り棒と転倒防止シートを併用する。

（議論のポイント）

・正常化の偏見、耐震化の費用、多忙な生活スタイル など

【ドアの歪み】閉じ込められないようドアを開ける。
→耐震補強を行う。
【台所での出火】揺れがおさまってから火を消す。
→消火器を使う。

■ 360度映像の指導例

■ 室内編

被害内容	子どもに書いてほしいこと	怪我等をしないためにすること	事前にできること
窓が割れる	窓が割れるとは思わなかった、踏むと危ない	机の下への避難、底の厚いスリッパを履く	保護シート貼り付け、底の厚いスリッパを履く
テレビの転倒	テレビを近くで見ていると危ない	テレビのそばから離れる	治具などでの固定
花瓶の落下破損	机の上に物を置きすぎない方が良い	割れ物から離れる、底の厚いスリッパを履く	高い場所には置かない、滑り止めシート
書棚の転倒	本が多く入っているので危険	書棚から離れる	治具などでの固定
天井照明の落下破損	上から落ちてくる可能性もある	机の下への避難	軽量の照明への見直し
床置き照明の転倒	大きい照明は倒れることもある	倒れそうな物から離れる	治具などでの固定
額縁の落下	大きい額縁は落ちてくると危ない	額縁から離れる	治具などでの固定
炊飯器・レンジの落下	炊飯器、レンジは重いので危ない	机の下への避難	高い場所には置かない、滑り止めシート
冷蔵庫の転倒	部屋の出入り口がふさがれた	冷蔵庫のそばから離れる	治具などでの固定
観葉植物の転倒	植物が倒れた、あたると危ない	倒れそうな物から離れる	滑り止めシート、重心の低い植木鉢に

地震発生時の避難行動を学ぶ動画【外出編】

- 【学習のねらい】
1. 屋外で、どのような危険が起こるかを理解できる。
 2. 状況ごとの適切な危険回避の方法を理解できる。
 3. 通学経路上で被災した場合の避難場所や避難時に注意すべきことを理解できる。

（指導上のポイント）

- ◆生徒が危険と考えた理由についても発表させる。
- ◆地震発生時の初期対応として「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所を見つけ出して、すばやく身を寄せ、適切な方法で自分の命を守ることを指導する。

映像を見て考えよう【外出編】

地震発生時の映像を見て、注意すべきか所や感じたことを下に書き込みましょう。

<p>映像の中で危ないと感じたところをここに画像で貼り付けましょう。</p>	危ないと感じた理由	<p>映像の中で危ないと感じたところをここに画像で貼り付けましょう。</p>	危ないと感じた理由
<p>映像の中で危ないと感じたところをここに画像で貼り付けましょう。</p>	危ないと感じた理由	外出中に注意すべきことを想像して書き込みましょう。	

《参考》

【屋外】

家の屋根・壁の剥落、石垣やブロック塀の崩落、自動販売機の転倒、階段からの転落、切れた電線による感電、家屋の倒壊、火災・爆発、液状化 など

（議論のポイント）

地域防災訓練に家族と参加、被災地を訪問し還流報告、被災地復興イベント企画 など

《重要》外出先で考えられる危険回避方法

地域や場所により考えられる危険はさまざまだが、以下の原則を守るよう指導する。

- ①危険が考えられる場所から離れる。
- ②駐車場など広い空間へ逃げ、カバンなどで頭を守る、だんごむしのポーズをとるなどの体勢をとる。
- ③揺れそのものだけでなく、続いて起こり得る火災、パニックになった群集、停電で信号が停止し、混乱する車等にも注意する。
- ④係員や車掌の誘導、館内アナウンス、誘導灯・誘導標識に従う。流言飛語に浮足立たない。
- ⑤津波の恐れがある地域では、揺れがおさまったらすぐに高台などへ逃げる。

■ 360度映像の指導例

■ 外出編

被害内容	子どもに書いてほしいこと	怪我等をしないために すること	事前にできること
天井の落下	天井が落ちるとは思わなかった	頭を守る、広い場所に移動する	避難できる場所を確認しておく
商品の落下	思い商品があるとケガをしそう	頭を守る、広い場所に移動する	避難できる場所を確認しておく
商品棚の転倒	棚自体が倒れるとは思わなかった	頭を守る、広い場所に移動する	避難できる場所を確認しておく
レジ上什器の落下	重そうなので危ない	頭を守る、広い場所に移動する	避難できる場所を確認しておく